



何をした？

協力雇用主として、刑務所を出所した人たちを雇用。

最初のきっかけは？

人材派遣業を営む中で、派遣登録者の中に更生保護施設在所中の人（刑務所出所者）がいたこと。

取組開始の理由は？

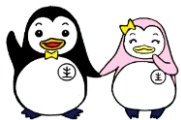
更生保護施設から再犯防止の取組を聞き、「人材派遣業だからこそ、役に立てることがあるのでは」と思うようになり、また、更生保護施設からも「今後もお世話になれますか」と尋ねられたこと。

どんな風に？

協力雇用主に登録して、刑務所出所者等を受け入れ、仕事探しから職場定着に至るまでを支援。

アイ・ドゥーから企業の皆さまへ

問題や不安を抱え込んでしまうこともありますが、各関係機関の方々と情報共有しながら、最適な方法を模索していく事ができます。協力雇用主がこの先、さらに広く深くつながり、社会全体で支えていけるようになることを期待しています。



刑務所出所者等を雇用



■ 協力雇用主としてのやりがい

協力雇用主として活動するようになり、アパートの契約、仕事探しから職場定着に至るまで、様々な経験は負担というよりは勉強でした。雇用した方の生き立ちや人生の価値観、生活環境などをしっかり受け止め、今まで気づいていなかったことにも目を向けられるようになりました。その結果、仕事を続けていくためのフォローを手厚くできるようになったと感じています。

一人一人が自立した生活を築けるようになることは私たちの原動力であり、喜びです。毎日、面談を重ねながら、個々の成長を感じることができるとき、また、社会の一員として働き、生活できる姿を見ることができるのは、本当に嬉しいことです。

■ 協力雇用主としての心がけ

雇用した方の罪名などは社員には公表していませんが、人柄や性格、希望などは共有し、情報を把握しながら進めています。人と人なので、合う合わないは必ずあります。指導等を担当する社員が本人と合うかどうかも見極めながら対応しています。

日常では、何かあったらすぐ会社に来てもらい面談します。何度も面談を行うこともあります。顔や表情を見て、心理状況や意識の変化なども感じながら、長く仕事を続けられるように、再マッチングも含めて業務にあたっています。

一番大切なことは、一人一人の支援を、決して投げ出さないことです。本人の意思がある限り、自立できるまではずっと寄り添っていきます。そのような心の支えとなる存在が必要であると痛感しています。継続的に収入を得て、生活に切れ目が生じないように、シームレスなサポートを心掛けています。